

## 2020 年度 高等教育研究コンソーシアム信州 学生生活活動支援事業活動報告書

団体等名	プロジェクト信州	
代表学生	所属大学名・学部・学年	長野県立大学・グローバルマネジメント学部・2年
	ふりがな 氏名	あんどうももせ 安藤桃彩
教職員責任者	所属大学名・職名・ ふりがな 氏名	長野県立大学・講師・ <sup>のぐちのぶこ</sup> 野口暢子

活動名	「まごころファーム」の運営
実施時期	<仕入れ>11月6日(金)・<開店>7日(土)
実施場所	長野市西鶴賀商店街
活動内容	<p>近年、台風などの自然災害により多くの農産物が甚大な被害に遭っている。そこで、台風19号の被災地支援として、被災地で生産された農産物を販売・提供する「まごころファーム」の運営を行った。販売した農産物は、被災地にある2つの直売所と交渉を行った上で仕入れを行った。販売は西鶴賀商店街にある空き店舗をまちづくり長野さんからお借りして行った。「まごころファーム」の開店は西鶴賀商店街の活性化にもつながる。そして、農作物の販売・提供を行うことで被災地にある農家の方々の収入になるだけでなく、商品を買ってくださる方々にも笑顔になっていただけるような店舗になるよう心掛けた。被災地の農家さんとお客様をつなげることができるようなお店の運営を目指した。</p> <p>当初は、1月末まで、隔週土曜日に開店する予定であった。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大(第3波の到来)により、活動を停止せざるを得ない状況になってしまった。そのため、11月の1回のみしかお店を開くことができなかった。</p>
活動の成果と今後の課題	<p>活動実施日は寒い日で、夕方から雨が降る悪天候であった。しかし、活動を行うにあたってお世話になった関係者の方々や、西鶴賀商店街周辺に住む住民の方々、インスタグラムや Facebook などの SNS やチラシでの宣伝を見た長野県立大学の学生や、教職員の方々など数多くのお客様がまごころファームへ来店して下さった。1日だけの開店となってしまったが、西鶴賀商店街に足を運んでもらい、商店街の雰囲気を感じていただくこともでき、商店街の活性化に貢献できたのではないかと思う。来て下さったお客様の中には私たち学生の活動について興味をもってくださいる方もいた。私たち学生の活動に賛同してくださる方がいることが私たちの活動の大きな原動力となった。このような地域のお客様との直接の交流がコロナ禍の状況でも変わらずに大事であるということを実感した。また、多くのお客様のもとに被災地で生産された農産物が渡ったことで少しではあったが被災地支援につながったと感じている。これまでに準備した道具類を再び使用し、仕入れた野菜が売れ残ることを想定し、売り値のつけ方にも留意し、お金の運用について十分考えて活動しようと思っている。</p> <p>今回の活動は、メンバーの減少、コロナ禍による活動停止など、当初の予定どおりには進まなかった。しかし、そのような状況の中でも得ることができたものはたくさんあった。お店を行う上での資金運用の仕方、活動を行う上で協力して下さった方々やまごころファームに来て下さった方々との直接的な交流の大切さ、楽しさを感じることができた。</p> <p>この活動によって得ることができたものは、この活動のみならず、これからの人生においても大きな財産になっていくと思う。次回からは、今回の活動で得られたことを活かすことはもちろん、課題の見直しを十分に行った上で取り組み、さらに成果を上げられるようにしたい。</p>

※記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。

※活動内容が分かる資料や写真等があれば、添付してください。添付書類を含む活動報告書一式は、A4判4枚

以内にまとめてください。

※提出された活動報告書一式は、各関係機関等に公表するとともに、高等教育コンソーシアム信州の HP への掲載を予定しています。